



## 離任の御挨拶

前足立税務署長

佐伯 祐治

初秋の候、公益社団法人足立法人会の皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

鈴木会長様をはじめ、役員並びに会員の皆様方には、日頃から格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年7月の着任以来、1年間という短い期間ではございましたが、この度の人事異動により、千葉東税務署へ異動することとなりました。

この1年間を振り返りますと、足立法人会の皆様方におかれましては、昨年10月に開催されました「あだち区民まつり」では、天候に恵まれ、多くの来場者を迎え盛大に開催されるなか、こども税金クイズの実施や税に関するリーフレットの配布など税の周知活動を熱心に実施いただきました。また、支部活動におきましても各種研修会の開催や、地域の祭りでの税金クイズの実施、役員及び会員の方々が面接官となり中学生を対象として企業採用模擬面接会に協力・後援するなど、地域に根ざした、幅広い活動を積極的に展開していただきました。

女性部会の皆様におかれましても、租税教育の重要性に深いご理解をいただき、「税に関する絵はがきコンクール」を積極的に開催いただきました。回を増すごとに多くの応募をいただくなど、益々活気あふれた、充実したコンクールとなっております。優秀な応募作品も多く、受賞作品の選出に悩まされたことや表彰式での受賞された児童の皆さんの輝かしい表情が思い出されます。

「税に関する絵はがきコンクール」を通じて、これからの時代を担う子供たちに社会や税に関して考える力が芽生える姿を垣間見ることができたことは、喜ばしく大変光栄に思います。

ご事業でお忙しいにもかかわらず、このように税知識の普及や納税意識の高揚を図る幅広い事業活動に熱心に取り組まれている皆様方に対して、改めて敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

足立税務署は新体制となりますが、これからも、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、公益社団法人足立法人会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝並びに事業のご繁栄を心から祈念いたしまして、お別れの挨拶とさせていただきます。

1年間本当にありがとうございました。



## 着任の御挨拶

足立税務署長

木村 政文

初秋の候、公益社団法人足立法人会の会員の皆様には、平素から税務行政に対しまして深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度の人事異動により、東金税務署長から転任し、足立税務署長を拝命いたしました木村でございます。

貴会におかれましては、「税のオピニオンリーダー」として、鈴木会長をはじめ、役員並びに会員の皆様が長年にわたり意欲的に会の活動に取り組んでこられ、本年度においても、正しい税知識の普及及び納税意識の高揚を図る各種研修会・講演会の開催、「あだち区民まつり」における税金クイズの実施や広報活動、「税に関する絵はがきコンクール」表彰式の開催などを企画されていると伺っており、大変心強く感じております。

貴会の皆様の長きにわたる税務行政に対するご尽力と地域社会への貢献に対しまして、心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

当署といたしましては、今後とも貴会の皆様との緊密なコミュニケーションを図り、連携・協調関係の更なる充実に努めてまいりますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、近年、税を含むあらゆる分野でデジタル技術の活用が急速に拡大しており、国税組織としましては、「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション」を更に進めるため、「納税者の利便性の向上」、「課税・徴収事務の効率化・高度化」及び「事業者のデジタル化促進」を3つの柱として取り組んでおります。

貴会の皆様におかれましても、引き続き、各税目のe-Taxの利用をはじめ、法人税のALL e-Taxや年末調整事務の電子化、源泉所得税などのキャッシュレス納付、その他会計・税務のデジタル化を含めた様々な側面からの業務のデジタル化を促進していただきますよう、お願い申し上げます。

また、令和7年度税制改正では、物価上昇局面における税負担の調整の観点から、所得税の基礎控除の控除額及び給与所得控除の最低保証額の引上げなどが行われます。

国税当局としましては、源泉徴収義務者である事業者の皆様に対しまして、丁寧なご案内に努めてまいりますので、同制度の周知・広報等につきましても、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、公益社団法人足立法人会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご事業のご繁栄を心より祈念いたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。

## 令和7年度 足立税務署人事異動 (7.7.10付)

### 異動前

所属	氏名	異動先
署長	佐伯 祐治	千葉東
副署長	町田 隆	留任
指定特官	小山 直行	渋谷
総務課長	江島 ルミ子	留任
法人課税第1統括官	大西 公彦	麴町
法人課税第2統括官	早瀬 清人	留任
法人課税第3統括官	佐川 正治	留任
法人課税第4統括官	吉留 伸吾	局・課一
法人審理上席	松田 久恵	浅草
法人審理官	榎本 峻政	局・調4

### 異動後

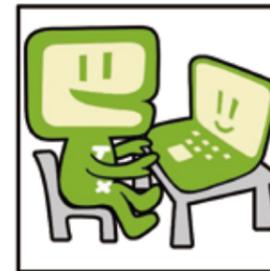
所属	氏名	前任地
署長	木村 政文	東金
副署長	町田 隆	留任
指定特官	小川 幸一	豊島
総務課長	江島 ルミ子	留任
法人課税第1統括官	山田 哲司	局・総務
法人課税第2統括官	早瀬 清人	留任
法人課税第3統括官	佐川 正治	留任
法人課税第4統括官	垣本 幸伸	西新井
法人審理上席	藤井 哲明	渋谷
法人審理官	岡田 藍	局・査37

## 足立税務署からのお知らせ

### 源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナーを開設しました

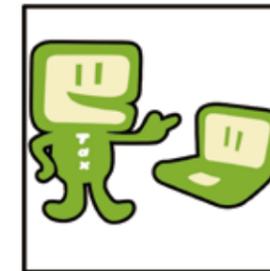
源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナーとは、e-Taxソフト(WEB版)と同様の画面操作を用いて、徴収高計算書の作成・送信・納付手続を体験できるデモ操作ツールです。

### e-Taxによるキャッシュレス納付の利便性をぜひご体験ください



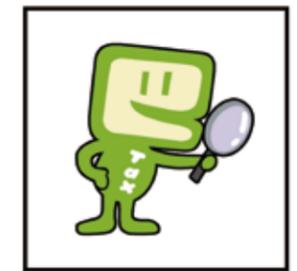
#### 事前準備不要

パソコンやスマートフォンがあれば今すぐお試しいただけます。e-Taxの操作性を気軽に体験することができます。



#### 何度でも操作可能

デモ操作ですので、ミスに気にすることなく、利用できます。パソコンの操作が苦手な方でも、安心して利用できます。



#### 操作確認用に

デモ操作の画面を確認しながら、実際のe-Taxの操作を行う使い方もできます。

## 法人会インフォメーション

### 足立税務署への表敬訪問

各組織が 令和7年度 定期人事異動に伴う足立税務署新幹部への表敬訪問を実施した。

#### ◇ 本部役員

日時：2025年7月17日(木) 14:30～14:50  
出席：業務執行役員(会長・副会長・常任理事)、事務局  
人数：10名



#### ◇ 女性部会

日時：2025年8月8日(金) 14:00～14:20  
出席：女性部会役員(部会長・副部会長)、事務局  
人数：6名



#### ◇ 青年部会

日時：2025年8月6日(水) 13:10～13:30  
出席：青年部会役員(部会長・副部会長)、事務局  
人数：8名



#### ◇ 仏教部会

日時：2025年8月4日(月) 13:30～13:50  
出席：仏教部会(足立区仏教会)役員、事務局  
人数：5名

## 厚生委員会

### 親睦ゴルフコンペ開催

会員相互の親睦・交流ならびに健康増進を目的として6月18日(水) 茨城ゴルフ倶楽部・東コースにおいて、親睦ゴルフコンペを開催いたしました。

今年度もコース会員の湯原副会長にご協力をいただき、ワールドレディーズチャンピオンシップ「サロンパスカップ」が開催されている名門コースで実施し、14組55名の方にご参加をいただきました。

当日は天候には恵まれましたが、最高気温33℃と今年も季節外れの暑さに見舞われ、各自熱中症対策を十分にとりながらプレーを楽しみました。

次回は、11月13日(木) 水海道ゴルフクラブにてチャリティーゴルフコンペを開催いたします。詳細は、本号に同封しておりますチラシをご確認のうえ奮ってご参加ください！

(参加人数55名 厚生委員長 三浦 啓行)

#### 成績 (敬称略)

- 優勝 竹中延公 (43・51 G94 N68.8)
- 準優勝 齊藤俊和 (44・43 G87 N71.4)
- 第3位 鈴木 昇 (39・40 G79 N73.0)



暑い中お疲れさまでした！

#### 【バスグロ】(敬称略)

- 第1位 鈴木 昇 (39・40 G79)
- 第2位 岡田政俊 (39・45 G84)
- 第3位 村田雅紀 (45・40 G85)



優勝した竹中さん(左)と三浦厚生委員長(右)

## 法人会インフォメーション

### 広報委員会

### 夏期研修会

#### 千住七不思議 独演会

8月6日に開催された夏期研修会では、若手講師・神田ようかん氏をお迎えし、【千住開宿400年記念】～千住七不思議～の独演を拝聴する貴重な機会をいただきました。張扇、巧みな語りを引き込まれ、江戸の町の情景が目の前に広がるようでした。また、東京観光の「王道」を体験した訪日客が地方へ流れてしまう現状を踏まえ、英語講談を通じて物語で心をつかむ観光コンテンツを創り出しているという取り組みを紹介され、観光と文化を結ぶ講談の力に大きな可能性を感じました。

さらに、千住名物「そば闇魔」の逸話に続き「講師はそばをすすらないんですよ」と笑いを誘いながら噺家直伝のそばのすすり方を実演し、落語との違いをユーモラスに語ってくださった場面も印象的でした。そして「ようかん」という高座名の由来について語られた心温まるエピソードは、氏の人柄と芸への真摯な思いを伝えてくれました。



独演する神田ようかん氏

独演会の様子

研修後の懇親会では、美味しい料理を囲みながら参加者同士の交流が深まりました。神田氏も同席され、講師としての歩みや英語講談の裏話などを直接伺える和やかなひとときとなり、会場全体が温かい雰囲気になりました。

今回の研修は、千住の歴史を物語として味わうだけでなく、地域文化の未来を考えるきっかけとなる、大変意義深い時間でした。

(参加24名 広報委員 米本 芳佳)

### 都税事務所からのお知らせ

#### 都税がスマホ決済アプリで納付できます

- 📍 おうちで今、納付できます！
- 📍 スマホ決済アプリで納付書の地方税統一QRコード(eL-QR)を読み取るだけで納付ができます。



納付書の下部に eL-QR が掲載

#### 注意事項

- 領収証書は発行されません。
  - 納付手続完了後に納付を取り消すことはできません。
  - eL-QRのない納付書については、上記の方法で納付できません。
- 詳細は、東京都主税局 HP をご確認ください。

※上記の方法を利用できるスマホ決済アプリは地方税共同機構 HP をご覧ください。  
※1枚あたりの合計金額が30万円までの納付書では、スマホ決済アプリでバーコードを読み取ることも納付できます。  
利用できるスマホ決済アプリは東京都主税局 HP をご覧ください。  
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

# 支部会員紹介

第5支部 青井1~6丁目  
弘道1・2丁目

## (株)泉ポンプ製作所 藤田 太輔 代表取締役社長

1959年12月に設立、給排水設備工事、地下水低下工法、防蝕井工事を行っています。

一般の方に向けて簡単に説明すると、①水道管の設置等、水の供給と排水の工事②地下工事を行うにあたり、地下水を抜き地盤の安定性を高める工事③ガス管や水道管が錆びない工事を行います。

元々私は銀行員として働いており、10年程前、結婚を機に義理の父が経営していた弊社に入社しました。



実際の工事の様子

会社としての目標として、一生懸命働いている従業員の努力が報われるような会社になりたいと考えています。

お客様が満足される提案をするといった日々の努力を評価する会社になりたいと思います。

私たちの仕事は日常気付かれにくい、イメージが湧きにくい仕事ですが、蛇口を捻れば水が出る、地下鉄やデパート、道路等の地下施設といった社会インフラを守っている一員でもあります。皆さんの目に見えないところで生活の安心・安全を支える仕事に誇りをもって取り組んでおりますので、地上のみではなく、ぜひ地下にも目を向けていただけたら嬉しいです。



藤田社長  
「できない」ではなく「どうしたらできるのか」を提示できるようにと従業員に伝えている

### ☆概要 要☆

#### 株式会社泉ポンプ製作所

TEL:03-3852-5381  
時間:9時~17時 定休日:土日祝  
住所:足立区青井2-15-28  
アクセス:つくばエクスプレス青井駅徒歩12分  
東武スカイツリーライン五反野駅徒歩11分

#### ちょっとひと駅歩いて健康に!

青井駅から12分(消費カロリー 44 kcal)  
綾瀬駅から27分(消費カロリー 91 kcal)

## (有)栗原金庫製作所 栗原 富男 代表取締役社長 栗原 康雄 氏

弊社は1957年10月に設立し、自社工場での製造から販売、メンテナンスまで全てを一貫して行っている金庫の製作会社です。

日本刀や骨董品を収納するのに適した刀剣収納用耐火金庫を製作する国内唯一のメーカーとして、大手国内金庫メーカーへの卸し、美術館、官公庁等への納入実績もあります。

私自身は10年間銀行のATMを製造している会社に身を置き、その後父の経営している弊社に勤め始めました。

弊社の強みは、市販の金庫とは比べ物にならない程丈夫な金庫を製造している点です。

写真の金庫は現在製造中のものになりますが、一般的な耐火金庫の耐火材として使用される発泡コンクリート層の他に普通の耐火金庫には使用しない特殊な耐熱材を入れ耐火性の向上を計る他、鉄筋を入れることにより、万が一穴を開けられても保管品が簡単に出せないような作りをしています。↓

製造途中の金庫の裏側は中々見ることが出来ませんが、今回特別に見せていただきました!



製造途中の扉 完成した扉は鍵屋でも簡単には開錠できない仕組み。製造から納品までは4か月程度です。

今後の目標としては、会社を大きくするというよりも知名度をもっと上げたいと考えております。弊社の金庫は極力お客様のご要望を伺い、オーダーメイドで製造しているの、完成した金庫を見て喜んでいただけることが多いです。

栗原富男社長(右)と栗原康雄氏(左)



外観 金庫風の門が特徴です!



そんなお客様の笑顔をもっと広めることが出来たら嬉しいです。

最後に、鍵、耐火性能、防犯面を意識した製造方法等々、すべてにおいて一切妥協せず選び抜いた一級品のみを使用した金庫をお客様にお届けしております。例えば、弊社で使用している鍵は日本製ではなく、より性能の高いアメリカ製のものを使用しており、独自にメーカーから直輸入している為、手間とコストが掛かっております。

市販の金庫とは金額面で大きな差はありますが、その分ご満足いただけるクオリティに仕上げることができるので、ぜひ弊社の金庫をご検討していただけますと嬉しいです!



一級品の金庫。「栗原金庫」の文字や枠などは、すべて職人が手書きしたものです。

### ☆概要 要☆

#### 有限会社栗原金庫製作所

TEL:03-3886-6733  
時間:9時~17時 定休日:土日祝  
住所:足立区青井1-4-12  
アクセス:東武スカイツリーライン  
五反野駅徒歩11分  
つくばエクスプレス青井駅徒歩14分

☆ HPはこちら →



#### ちょっとひと駅歩いて健康に!

五反野駅から11分(消費カロリー 47 kcal)  
綾瀬駅から31分(消費カロリー 104 kcal)

上野駅、浅草駅など数々の実績がある



弊社の強みとしては、メーカーでありながら施工も行っている点です。基本的には自社製品を現場で使用しているため、仮に故障してもすぐに直すことができる、設計から施工まで完結して行える会社は関東で2、3社しかない、職人が多く、多くの現場を請け負うことができるといった強みがあります。

私たちはあくまでも「品質」で勝負しております。



社内工場と実際に使用しているポンプ

### ☆社員さん大募集!

泉ポンプ製作所では社員を募集しております! 志望理由は「手に職をつけたい」で構いません! また未経験の方も大歓迎です!



詳細や社員のインタビューは弊社採用ページまで →



須貝 麻由の

第3回

# べんべん三味線物語



## 「まっすぐに、音を育てた時間」続けることで開けた道

### ～繰り返した基礎練習のこと～

津軽三味線といえば、華やかで勢いのある演奏を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。

けれど、その華やかさを支えているのは、静かで地道な基礎練習の積み重ねです。

中でも「バチづけ」は、力強さや良い音を出すための大切な基本動作。私は、バチづけ練習や基礎となる「六段」という全国共通の津軽じょんから節合奏曲を、ひたすら反復練習してきました。一度ついた癖は直すのが難しいため、幼い頃から正しい型を身体にしみ込ませるよう意識して練習していました。

お稽古では師匠のアドバイスを受け、自宅では大きな鏡の前で、自分の手元をじっくり観察しながらバチを振ります。音を出しては確かめる—そんな地道な時間を、黙々と繰り返してきました。あの頃の積み重ねこそが、今の私を支えてくれています。

今では、「男性にも負けない力強いバチさばきですね」と言っていただけようになっていて、小さな積み重ねの力を改めて感じています。

### ～中学生になって、部活と三味線～

私は5歳から津軽三味線を弾いています。

中学校に進学すると、生活も少しずつ変化していきました。

三味線の舞台活動を続けたいという気持ちがある一方で、体を動かすのが好きな私は、運動部にも入りたいと考えていました。幼い頃から体を動



かすのが好きで、校庭でドッジボールをしたり、キックベースをして遊んでいました。

本当は中学の部活では、バスケットボール部に入りたかったのですが、三味線にとって「手」は命。突き指や骨折などの怪我のリスクを心配した母に「ダメ！」と一蹴されてしまいました（笑）。それでも運動が好きだった私は、指を痛めにくい運動部として、ソフトテニス部を選びました。テニス部では、仲間とともに練習に励みながら、充実した時間を過ごしていました。顧問の先生も、私の三味線活動に理解を示してくださり、いつも温かく応援してくれました。

学校では部活に汗を流し、家に帰れば三味線と向き合う—それが私の日常でした。

どちらかを諦めるのではなく、どちらも全力で取り組むことができた時間は、今振り返っても、かけがえのないものです。

### ～つながっていく努力の先に～

小学生の私は、小さな体で、左手が糸巻きに届か届かないかという状態で、子ども用サイズの無い津軽三味線を弾いていました。

東京や名古屋など各地の大会に出場する中で、少しずつ手応えを感じるようになり、全国から集まるライバルたちの存在も、私にとって大きな刺激となっていました。努力を続けることで結果がついてくる喜びを、少しずつ実感するようになっていきました。

そして、小学生から始まった大会への挑戦は、中学生になっても続いていきました。大会に向けた練習、そして本番の舞台に立つときの緊張感。そのすべてが、三味線とともに成長していく感覚を教えてくれたように思います。

高校生になったころ、私はひとつの大きな決心をしました。それが、「津軽三味線日本一決定

戦」の最高峰クラス、「日本一の部」への挑戦です。この部門では、ただ曲をうまく弾けるだけでは評価されません。「曲弾き」と「唄付け」の両方を演奏し、合計点が一定以上に達しなければ、たとえ得点トップでも“日本一該当者なし”となる厳しいルールがあります。私はそれまで、曲弾きを中心に技術を磨いてきました。

しかし、「日本一の部」に出場するためには、新たに“唄付け”の世界に足を踏み入れる必要がありました。

今回は、ゼロから始めた唄付けの勉強と稽古、そして新しい挑戦に向き合った日々について、お話ししたいと思います。

どうぞお楽しみに。



### タタキ

バチで弦と皮を叩きつけるように弾く  
私が一番大事にしている部分で、  
スッキリした力強い音色を出せるように  
心がけています

### ハジキ

左手の指で弦をはじいて音を出す  
はじく強さによって音色の柔らかさが  
変わるので、曲によって強弱を  
使い分けています

### スクイ

バチを下からすくい上げる  
叩いた時のフォームのまま自然と  
戻すようなイメージです

## コラム 津軽三味線の主な奏法

### オシバチ

バチで弦を押すようにして隣の弦に移る  
弦の移り変わりが強いと音が浮いて  
しまうので、脱力して自然と  
弾く事がポイントです

### ウチ

バチで弾いた弦を左手の指で打つ  
難易度は少し高めですが、指の腹でなく  
指を立てて押さえる事がポイントです

### スリ

バチで弦を弾いてから左手を一気に下げる  
個人的には奏法の中で一番オシャレな  
奏法だと思います。アレンジなどの時に  
よく使います



コラムの主な奏法  
動画はこちら！ →



## 須貝麻由 プロフィール

祖父母と姉の影響で5歳から津軽三味線を始め、二代目小田島徳旺氏に師事。小学生の頃より全国大会で優勝を重ね、2014年には、津軽三味線日本一決定戦の最高峰『日本一の部』を当時最年少16歳で制覇。小学2年生では津軽手踊り東京大会でも優勝。現在は姉とのユニット『津軽三味線姉妹ユニットまゆかり』でも活動の幅を広げている。

支部活動報告

第6支部 役員会  
開催日：6月19日(木)  
場所：足立成和信用金庫 綾瀬支店  
参加：5名



第9支部 役員会  
開催日：6月20日(金)  
場所：こがね鮎  
参加：9名



第13支部 役員会  
開催日：6月25日(水)  
場所：足立成和信用金庫 佐野支店  
参加：8名



第2支部 役員会  
開催日：7月9日(水)  
場所：足立成和信用金庫 旭町支店  
参加：9名



第10・11支部 役員会  
開催日：7月11日(金)  
場所：蕎麦遊膳 松鈴  
参加：20名



第8支部 役員会  
開催日：7月23日(水)  
場所：赤兵衛 綾瀬東口店  
参加：9名



第1支部 役員会  
開催日：7月24日(木)  
場所：足立法人会館3階  
参加：9名



第9支部 役員会  
開催日：7月29日(火)  
場所：魚民六町駅前店  
参加：7名



第12支部 役員会・異業種交流会  
開催日：7月17日(木)  
場所：木曾路 竹の塚店  
参加：役員会17名、異業種交流会34名



健康を応援する

第132回

『眠れなかったらサングラスしろ』

葛飾健診センター長  
吉原 一郎 先生

～Dr.クラとIさんの健康小話～

Iさん：この頃よく眠れないんです～(涙)  
Dr.クラ：Iさんは悩み事なんてないから年齢のせいかな？  
Iさん：www  
Dr.クラ：それはジョークとして睡眠は健康にとって一番大事だと思うよ。  
Iさん：肝臓がボロボロで先生から禁酒を命じられた途端、眠れなくなりました(涙)  
Dr.クラ：飲酒は入眠にプラスに働くことがあるけど睡眠全体で見ると睡眠の質は落ちてしまうんだ。  
Iさん：睡眠薬ください～い。  
Dr.クラ：その前にある程度の年齢になったら寝る準備をするべきだよ。  
Iさん：寝る準備ってパジャマに着替えてますけどw  
Dr.クラ：間違っていない(笑)  
Iさん：まずは目や耳への入力を抑える、つまりはテレビ、スマホなどを控える、あとは夕方からオレンジ色のサングラスをかける。  
Iさん：サングラス??  
Dr.クラ：夕陽をイメージさせるオレンジは入眠効果があるという実験結果があるよ。  
Iさん：毎晩サングラスかけます(喜)  
Dr.クラ：ただね、昼寝のしすぎは夜眠れなくて当然だよ～  
Iさん：バレてる(笑)

説明会・研修会等ご案内

〈月例研修会〉◎法人税を学ぶセミナー

開催日	時間	会場	テーマ
2025年10月20日 月	10:00～12:00	足立法人会館 3階会議室	相続税について 相続財産の評価はこうする
2025年10月21日 火	13:30～15:30		贈与税にかかる税金 万が一の離婚にそなえて
2025年11月20日 木	10:00～12:00	足立法人会館 3階会議室	贈与税にかかる税金 万が一の離婚にそなえて
2025年11月21日 金	13:30～15:30		贈与税にかかる税金 万が一の離婚にそなえて

※月例研修会参加費無料(初回のみ、テキスト代として会員1,000円、一般参加者2,000円の負担あり)  
※4月より実施しておりますが、基本的にオムニバス形式のため途中参加でも問題ございません。

2025年度月例研修会のテキスト▶



〈決算法人説明会〉◎決算を前にした会社のために

開催日	時間	会場	対象
2025年9月9日 火	13:30～15:30	足立税務署4階会議室	9月決算
2025年10月6日 月			10月決算

〈新設法人説明会〉◎新しく会社を設立した方は

開催日	時間	会場	対象
2025年10月7日 火	13:30～16:00	足立税務署4階会議室	新設法人

※足立法人会館 3階会議室 住所：足立区千住中居町25-7 TEL.3881-0326  
※足立税務署 4階会議室 住所：足立区千住旭町4-21 TEL.3870-8911 (内線212)

9月のテーマ「米」に多数のお申し込み有り難うございました。広報委員会・選者で厳選した結果、以下の5作品に決まりました。次回も奮ってご参加下さい。

**おかわりの できるお店が 減りました** (部長課長)

「おかわり」で鰯腹ご飯を食した時がありました。それこそ有難さにこめ国家の豊かさを身に滲みて感じたものです。

**買えないと しみじみわかる ありがたさ** (コシヒカリ)

安いお米を求めて、私もスーパーの店先を見て回り、今なおその習慣は抜けません。放米はあつという間に売り切れてしまい、手に入りませんでした。

**実家から 届いた新米 噛み締めて** (くまもん)

実家がある人がどれほど羨ましかったか。手蔓のない人には他に方策がありません。政治がこうした問題を切り開くのを、待っています。

**手を変えて また緑り返す 米騒動** (ばんあん)

農業国家にとって米は命綱です。冷害や異変の不作は国家の危機と言えるでしょう。コメの管理政策は、政治の責任でもあります。解決の道筋を早急に。

**探しても 最後は諦め パンを買う** (雪の子)

探し探しても手に入らず、ほとんどの人が残念な思いをしたことでしょう。パンを買ったのは虚しい諦めでした？

『総評』

今回も「米騒動」と言えるかもしれませんが、かつての冷害や不況で起こした騒動とは性質を異にしています。手を変えた騒動と見ることが出来ます。減反政策を勧めてきた政治が、手を返すように増産に舵を切るの、かなり思い切った政策転換だと思えます。世界が資源不足を憂いている現状をどう切り開いてゆくか。実現は容易ではありません。常食の米がなければ、日本人は飢えるばかり。そんな事態は避けなければなりません。戦後パンを食べて生き延びた日本人が本当に食べたいのは、やはりお米だったのだと分かった気がします。

米なくて なんの思いや 日本人 (藤袴)

増産を 叫ぶ政治や 逆戻り (藤袴)

11月号のテーマ  
【七五三】

「川柳」は、五・七・五のリズムで詠む口語の定型詩です。口語以外の言葉を用いることもあります。俳句と違い、季語を用いる必要はありません。テーマの言葉を入れる必要はありません。

お一人様、二句まで、ハガキ又は、FAXで投句

※句掲載の方には、クオカード(一、〇〇〇円分)を差し上げます。

締切 九月二十六日(金)まで  
投句先 〒二二〇一〇三五

足立区千住中居町二十五―七  
FAX 三八七九―三五四〇  
(公社)足立法人会 川柳係へ  
お寄せください。

〈選者・コメンテーター紹介〉  
秋庭 隆(あきば・たかし)

戦後18年間、足立区に居住。現在、「東海道ネットワークの会21」顧問(藤沢市在住)。

あ と が き

今年の夏は猛暑と各地方で大雨による被害が起きました。まだ暑さとこれからの台風に心配ですね。

(加島広報委員)



公益社団法人  
足立法人会報  
第297号 (通巻359)  
令和7年9月1日発行  
発行所  
公益社団法人 足立法人会  
足立区千住中居町25-7  
電話 (3881) 0326  
メールアドレス  
koueki@adachi-houjinkai.or.jp  
編集人  
広報委員会